

発行所
東京亀城会
東京都港区南青山5-9-12
アイザビル306号 〒107
阿部統一事務所
電話03(3400)1151(代)
FAX03(3498)6089
郵便振替東京 4-24020
発行人 若林義治
編集人 堀 修二
定価 1部150円

東京亀城会報

平成四年度総会

土田前財務理事表彰

平成四年度総会は、十月十六日午後六時より、東京都千代田区番町グリーンパレスで、内山敬司(十五回卒)会長代行のもとに開会された。

例年通り、会務報告・会計報告、会計監査報告を異議なく承認し、東京亀城会再建以来、財政面、会計面を担当、本会を今日の隆盛に導いた財務担当理事土田喜彦氏(二十八回卒)が、一身上の都合で、昨年度で財務担当理事の任を辞任されたため、在任中の努力と、ご功績に対して、感謝状と記念品を贈り表彰した。

総会終了後、懇親会に入り招待の大沼昭・酒田市長(二三回卒)はじめ、東京有煙会(旧制酒田高等学校、酒田西高同窓会東京支部)小野たけ江会長、如松同窓会東京支部(旧制鶴岡高等学校・鶴岡北高同窓会)萩生万寿子支部長、酒田中央高校、余目高校、松山里仁館高校、酒田商業、東京城野会(鶴岡工業同窓会東京支部)、東京瑞穂会(庄内農高同窓会東京支部)、東京鶴翔会(鶴岡中学校、鶴岡南高同窓会東京支部)の在京同窓会の代表及び、昨年調査の結果判明した旧酒田中学校校歌の作曲者、旧海軍楽隊長、故横枕文四郎氏のご長女池田磯子さん、ご三女佐久間三子さんの出席を頂き、内山会長代行の歓迎のあいさつに続き、有煙会小野会長と小松最高顧問の音頭乾杯、特に本年は、旧中学校校歌の作曲者及び緑書発見にちなみ旧校歌「あゝ見よ鳥海」を斉唱し、懇親会に入った。

会は、各招待者のご祝辞と特に、就任以来初出席の大沼酒田市長のあいさつをはじめ、各界の同窓会員のあいさつを受け、地酒と郷土の珍味で、在任時代の話と先輩後輩の交歓を楽しんだ。

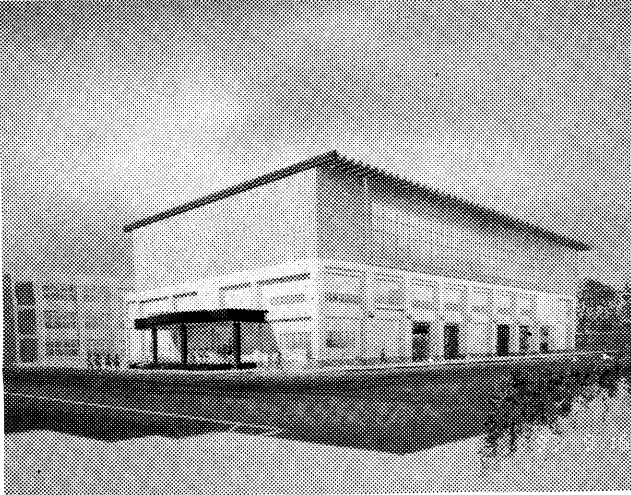
本年も次の地元各社からご厚情を頂いたことをお知らせする。総計五億五千万円、延べ面積が一八四八平方メートルで、一階は雨天時のトレーニングが可能なビロテ、二階がアリーナの総二階建てである。特に二階のアリーナではバスケットが一面で、バレーが二面で一斉に行うことが出来る広さが確保されており、授業や部活動の際は大変便利になる。

また、現在の体育館は昭和三十三年に建築されたもので老朽化が進んでいるが、当分は壊さないで使用していくことになる。広いスペースの体育館を十分活用することで、更に本校の文武両道の推進にも拍子がかかってくる。総計五億五千万円、延べ面積が一八四八平方メートルで、一階は雨天時のトレーニングが可能なビロテ、二階がアリーナの総二階建てである。特に二階のアリーナではバスケットが一面で、バレーが二面で一斉に行うことが出来る広さが確保されており、授業や部活動の際は大変便利になる。

新体育館建設進む

かねてからの念願であった本校の新体育館建設がいよいよ着工した。着工に先立って、亀ヶ崎城跡の埋蔵文化の発掘調査が平成五年五月から七月末まで行われた。城代家老や次席家老が住んでいた屋敷跡の発掘で、陶磁器や木製品等多数出土し、学校関係者一同、思いを馳せることが出来た。

新体育館は、平成五・六年の二年間工事が行われ完成は平成六年七月三十一日の予定である。場所は以前の明道館(柔剣道場)跡でまた昭和四十年後半からはテニスコート



この体育館の建つところは、かつて新井田川と最上川の合流する三角州の自然堤防であった。(予想図)

この夏、仕事を重ねてクルージング(旅客船)で東北の祭を見て回りました。

新潟から船に乗り、まず、わが故郷・酒田の港祭り、そして秋田の竿燈祭り(今年から竿灯から竿燈に戻った)、青森のねぶた祭り、仙台の七夕と巡り帰ってきました。

酒田の花火大会は四十年ぶ

亀城提言

この夏、仕事を重ねてクルージング(旅客船)で東北の祭を見て回りました。

新潟から船に乗り、まず、わが故郷・酒田の港祭り、そして秋田の竿燈祭り(今年から竿灯から竿燈に戻った)、青森のねぶた祭り、仙台の七夕と巡り帰ってきました。

酒田の花火大会は四十年ぶ

十三号発行の御挨拶

東京亀城会会長代行 内山 敬司



若林会長が病臥中のため、代わって会員の皆様に御挨拶を申し上げます。

今回も関係の皆様の絶大な

るに尽力のお陰で会報の発行が出来ましたことを喜び且つ心から御礼申し上げます。

イデオロギーによる冷戦が終わり、より安定した世界平和に近づいてくると期待も空しく、世界はより困難な民族的、宗教的な反目と殺戮を繰り返す事になってしまいました。

その上に世界的規模の不況に見舞われ、一向に出口が見つ

尤も活力ある経済活動の中心の一つになりつつあるのは、日本を含めたアジアであることが今までの考え方と経済発展をもたらす事が出来ない混乱の時代に遭遇しているようにみえます。何処の国でもこの過渡期を如何に乗り越えて新しい秩序に到達出来るか、試行錯誤を繰り返しながら模索しているのが現状であると考えざるを得ません。歴史的な大転換の時期に遭遇している様です。

その様な世界状況の中で、

ふるさとの銀行

まごころを大切に
庄内銀行 東京支店
千代田区内神田二丁目16番9号 TEL.3256-8911

東京亀城会第二代会長 東京亀城会最高顧問 小松小児科医院

医師 **小松直幸**
(大正一五年卒業)

荒川区東日暮里三二九一二
電話 三八九一五五四二六

前田製管株式会社

取締役社長 前田直己

本社 山形県酒田市上本町6番7号
TEL.0234(23)5111
東京支店 港区赤坂7丁目10番8号(江戸清ビル)
TEL.03(5570)6801

庄内米

おいしいお米の代名詞

「はえぬき」&「どまんなか」

小さな夢、大きな夢も。
JA庄内経済連

全国発、全国へ

お引越しなら
ムコウジマ引越センター

◆関東運輸局認定 トランクルーム開設!!
●お申し込み・お問合せは
見積り無料 いらないなムック
0120-171769
向島運送株式会社
本社/〒131 東京都墨田区堤通2-12-2 TEL03(3614)6771
従業員募集中 応募の方は本社総務部宛お電話を

EPSON

EPSON 東北エプソン株式会社
〒98-01 酒田市十里塚166番地の3 ☎(0234)31-3131
FAX (0234)31-3145

創立時から
三先輩逝く

当東京亀城会が昭和四十二年再開以来運営の中心的存在でありました前事務局長斎藤芳夫氏（一回卒）、筆頭相談役菅原左衛門氏（旧名藤也）氏（七回卒）、前会長長河村龍郎氏（九回卒）の三先輩が、平成四年度総会以後、本年六月までに逝去されました。謹んで、冥福をお祈りいたします。



斎藤芳夫氏

昭和四十二年、第一回卒業
故郷津八重蔵先輩が、読売新聞社北陸支社長より、本社役員就任とともに、本会が再活動を開始したのであったが、その当時から総会、役員会に三氏とも出席されていた。
当時専務理事をされていた東京・虎ノ門にある（旧）日本木材工業組合に当会の事務所を置き、同窓会活動を再開した。

略歴

大正十四年酒田中学卒業、
日本大学経済科卒業、東京外語専門学校卒業、昭和十二年東京帝大農学部勤務、日本農林輸入社、応召、戦後復職、昭和三十八年監査役就任、昭和四十年日本木材組合専務理事、享年八十四才。



河村龍郎氏

三代目会長斎藤栄治先輩のあとを受けて、第四代会長としての理想像として慕われて、満場一致で就任された。斎藤栄治先輩が急逝されたため、事務引き継ぎも充分でなく、苦勞された会長であった。財政的に貧しい当会だっただけに、不時の冠婚葬祭費をしばしば援助をお願いしたこともあったが毎回心長く承諾頂いた。会長代行、会長職三期と十年の永きにわたり、会の指導と統轄を頂き、本会を軌道に乗せて頂いた功績は絶大であった。
余自身のため、在京余目昭和三十八年監査役就任、昭和四十年日本木材組合専務理事として、郷土の世話、特に余目への企業誘致、後輩の就学、

略歴

昭和七年酒田中学校四年修了、第二高等学校入学、東北帝国大学工学部卒業、東京帝国大学大学院卒業、陸軍航空技術大尉、戦後工業博士学位取得、日東化学、三菱油化勤務、高圧ガス保安協会に創立時の勤務。余目町東京事務所長。享年七十七才。

お願い
会員の高齢化により、物故者が増加して来ましたが、遺族にとって、意外に負担になる場合が多いとお聞きいたします。

初盆に参詣させて頂くこともありますが、宗教上の相違もありますので、同級生、ご縁者の事務局まで早速にご連絡をお願いいたします。

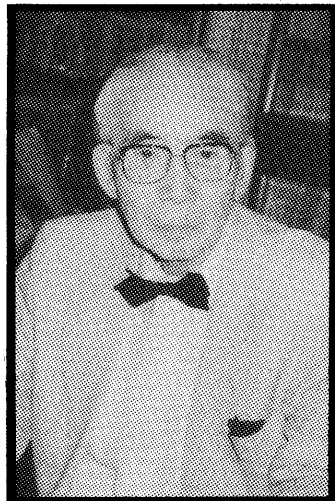
森万紀子氏（二八回卒）

本名・松浦美子。昭和二十八年、酒田高等学校西校舎卒業後神戸、東京で英語学校に通い、社外校正などで独学自活しながら書いた処女作「単独者」が文芸雑誌「文学界」（文芸春秋社刊）新人賞佳作となり、昭和四十年上半期の芥川賞の候補に選ばれた。その後、「距離」「密約」「黄色い娼婦」の四編が七年間に芥川賞候補となった。

ほかに宗鏡花賞受賞の「雪女」があり、著作ながらも珠玉のような「因われ」「廃街」など、文芸作品を発表、昭和四十年代の「内向の世代」の代表的地位を占めていた。平成四年十一月十七日自宅にて死去した。

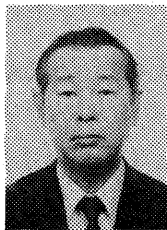
略歴

庄内故事の発掘を終生のテーマに執筆され大宅壮一マスコミ塾生として終生真実の掘り越しの真実の進及に筆をふるわれた。



菅原左衛門氏

当会常任理事、相談役を執り、会報に「庄内昔今」を連載、められたが、特に、当亀城会



東京と庄内

池田教一郎（二九回卒）

庄内浜でとれるうまい魚といえは、まず第一に口細カレイである。大分県日出町の城下カレイには及ばないが、焼きたての魚は天下の一品だ。熱い熱い大根おろしと生醤油をかけて食べる、あのうまさはいくらも足りない。
空港ができたので、庄内のうまいものが東京や関西方面に出ていき、地元でも値が上がるのか心配していたが、今のところその心配はない。あのうまいことが、これも庄内人の口下手と不足が幸いして、この祭りは、ユニークな祭りに。手を加えてPRすれば、全国的にも話題になる。人口十万人以上三十万人未満の大都市百一市について「暮らしやすさ」を求めたら、酒田は十三位（東北で二位）、鶴岡は二十位（東北で二位）、二市二位といっても、該当する市がほかに弘前、石巻、会津若松の三市だけなのであまり自慢にはならないが、これを人集めに利用しない手はないと思う。おおいに全国に宣伝すべきだ。ちなみに全国の一位、二位は松本（長野）と武蔵野（東京）である。この二つの市はいずれもある項目のなかでも「自治体先進度」の偏差値がどちらも七・二と高いのが特色である。私は自治体先進度の内容がどういふことなのかはわからないうが、酒田、鶴岡の両市が共に四四・九と低いので、特に酒田市議会議員などは、進歩とやらをこつと研究したらどうか。行政の介入によって、祭りが行政の介入によって、いつの間にか「酒田まつり」に名前が変わった。祭りは民衆のエネルギーの発散であ

株式会社 開発ピーアール社

取締役 五十嵐儀勇
(昭和五五年卒)

中央区新川一三三二一八
電話 三五五二一八三八七
電話 〇四七三（五〇）六三二七

佐々木整形外科病院

院長 佐々木 章
(昭和六六年卒)

青梅市師岡町三一八九九
電話 〇四二八（二四）二九九

日本水工設計株式会社

代表取締役 伊藤俊美
(昭和五五年卒)

〒104 東京都中央区勝どき三丁目一番一
電話 〇三三三三四一五二一（代）
事務所 東北・東京名産品大阪店島九州

市原地所株式会社

取締役 菅原義郎
(昭和五八年卒)

千葉市市原市五所一七二六
電話 〇四三六四一四一七九
FAX 〇四三六四一四一七九

東清株式会社

取締役 金湖東吉
(昭和五五年卒)

大田区大森北一五一一
大森海上ビル三階
電話 三七六一七七八八

岡部建設株式会社

取締役 岡部長征
(昭和三十一年卒)

相模原市若松一ノノ十四
電話 〇四二七（四五）九九四
電話 〇四二七（二九）三七四

上野 栄枝
(昭和六六年卒)

医学博士 池田 浩
(昭和三年卒)

三井製糖勤務
(自宅) 武蔵野市関前二二二一四

千葉県印旛郡印旛村岩戸
京成成田線白井駅西行バス
電話 〇四七六（九九）〇二六一

青春時代のルーツを訪ねる
学徒動員地への旅

皇太子殿下と雅子さまとの結婚の興奮も冷めやらぬ六月十一日・十二日・泊二日をおかき、私達第二十三回卒業生は、青春時代の思い出の地群馬県大泉町(旧小泉町)を訪ねた。

ここは、中学生生活の最終学年となった昭和十九年、学徒動員令により旧中島飛行機製作所に赴いた青春の思い出多い懐かしい土地である。

当日は、四十九年振りの友に逢えようという気持ちが昂り、寝ておぼろげ朝四時には起き出してしまった。幼い頃の遠足の朝にもこんなことがあったな、ふと思いつく。

酒田地区から参加する友は、酒田始発五時五十六分の「いなほ」で発つてくる筈、参加者はもとより家族の方々も早朝より苦勞様だろうし、近郊近から参加する人はなお大変な、つい同情する。

私もじっとおぼろげ七時には家を出て上野駅に向った。上野駅ホームで数人の仲間達に逢い、八時三十九分発快速アーバン号に乗り九時三十三分には熊谷駅に着く。

そこで東京地区の他からの参加者を受け付けを始める。十時三十分には、新潟発と西四〇八号に乗り替えた酒田からの参加者が到着、世話人の角田君を先頭に元気な笑顔で続々と改札を出てくる。握手し、肩を抱き合いながら久しぶりの再会を喜ぶ。

昔の面影を探りながら時には胸のなかに目をやり、やっと思ひ出す友もある。四十九年の時の長さを思い知らされたい。

全員の揃ったところで、すでに待機していた観光バスに乗り込み一路旧中島飛行機小泉工場(現三洋電機株東京製作所)へ直行する。

三洋電機株では、四十九年前より記念撮影をした旧本館前に記念撮影の場を設定して私達を待っていてくれた。今回は酒田地区からの参加者三名東京その他地区十九名そして旧五年生からは、大川龍太郎、古川俊夫、村上多

ろいり聞けて参考になった。萩原氏は、酒田市の出身で鶴岡工業高校を卒業後中島飛行機製作所で設計を担当していた方である。現在七十二才の長をとり、町会議員として尊敬されておられる方である。私達の訪問に当ても各方面にいろいろ便宜を図って下さった。改めてお礼を申し上げたい。

講演後、昔のまま残っている工場跡を見学する。

工場跡は旧太田・小泉飛行機跡へ向う。今はスバルの駐車場となっており昔の面影は僅に残る一本の白い滑走路の跡だけ。私達が戦艦・爆撃機「銀河」、夜間戦闘機「月光」などを作った整備工場など僅かだが残っている。何か寂しい。

高林寮跡もすっかり変り、昔の面影など何もない。いよいよの事で割愛し、休日に遊んだ香龍様で知られる大光院へバスを走らせ各自参拝、記念撮影のあと太田を出発東北自動車道経由東京へと向う。

△
社内で加賀山先生から送られたメッセージを昭三君が声をつまらせながら読む。一同師の温情に感激涙ぐんでいた。

東京での懇親会及び宿泊場所本郷東大正門前にある鳳鳴館森川別館である。

私達は、勤勞奉仕や教練だけはたつた味だったが、ついに修学旅行はなかった。せめてこの機会に修学旅行気分でも味わってみたい。市原君たちが半年以上前から、都内を走り回り、漸く見つけてくれた古風な木造の旅館である。

市原君の人情、そして旅館の女将の好意もあり、この日は客は私達だけで、他の客は誰も入れなかったが嬉しかった。

直接会場に集まってくれた八名を加え総勢五十二名、記念撮影のあと宴会となる。

酒は前もって運ばれた五十嵐邦夫君お配の上喜元の吟醸酒、中学時代の昔に還り名札と顔を見比べながら昔話に花を咲かせ、応援歌や校歌で大いに盛り上げた。初めて同期会に参加の友は、本当に楽しかったと何度も握手を繰り返して喜んでいた。

また、「卒業後四十八年にして、やっとな修学旅行気分を味わうことが出来た」と言ってくれた角田君の言葉が心に沁み、皆の気持ちを代表して言ってくれたものと思う。

宴会終了後は、各部屋をばしして旧交を温める友あり、深夜まで酒を飲みながら語り明かす友あり、充実した旅となった。

△
生臭き肩書とれば皆同じ
ともて学び青春の日々

思えば、昨年六月銀座のレストラン高松で開かれた東京同期会で、小泉訪問の件が決定されて以来丸一年、その間東京と酒田の幹事の間に手紙や電話、ファックス等で連絡を取り合いつつ検討を重ねてきた。

酒田では、五十嵐邦夫君を

はじめ、角田誠一君、大見昭君、小池二夫君等を中心となり、酒田地区の意見を取りまとめた。

その間、何度か東京と酒田を相互に往来し、昨年十一月酒田で開かれた同窓会で議題として取り上げられ、本決りとなったのである。

今回無事実現でき、参加者に喜んでくれた事は本当に嬉しい。また、それにも増して、酒田と東京二つの拠点にたい、丈夫なパイプができ、今後の同期会に大きな期待をもてるようになったことが、何よりの収穫であった。最後に、同行を願ったが、所用のため参加できなかった加賀山鋼太郎先生「写真」のメッセージを紹介して今後の発展を祈りたいと思う。

(報告・佐藤貞造)

此の度の動員地への旅には是非参加したいと思つて昨年以來その日を待っていました。偶々七人の七回忌法要が十三日に当たりましたが参加出来なくなりました。残念です。御案内誠に有難く感謝しています。

△
戦時末期の学徒動員、昭和十九年八月には三年生諸君と神町の海軍飛行場建設で、バ拉克板敷、荒むしに寝起きしながら毎日モッコを担いでいました。

小泉の飛行機工場に動員されていた諸君からは「元気で生産に励んでいます。先生もこちらに来て下さい」との葉書を頂戴しました。

十九年十一月小泉行きを命ぜられました。高林寮に昼に着き、キントンのような昼食をたべて諸君を待ちました。すっかり暗くなつてようやく君達と合流。寮に帰ってきました。

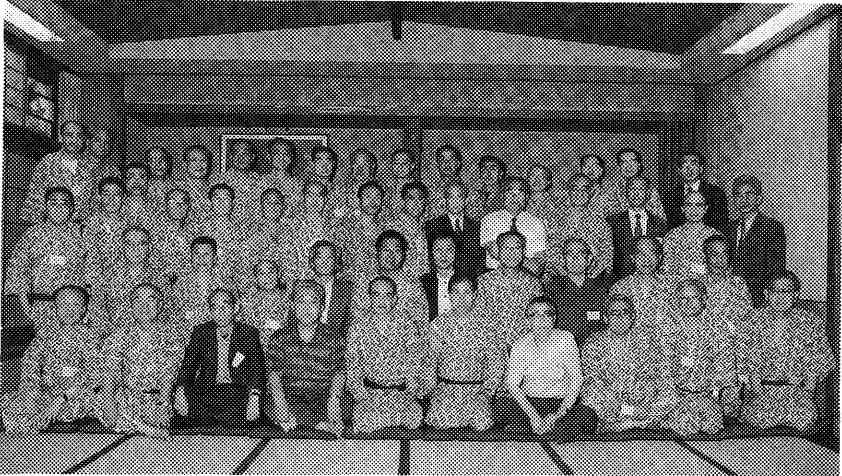
薄暗い電灯の下で廊下に集めた諸君。汚れたナッパ服に無表情で疲弊し切った顔々々。交際の挨拶をしても胸が一杯でした。

早朝暗い霧の中の体操・粗悪な朝食もその日の霧の中を霜柱を踏んでの工場への長い行進。ようやく白んだ職場に、試作工場と整備工場。赤城おろしの身を切るあの寒風の中、終日油にまみれての毎日。

B29より優秀な四発の爆撃機であるといわれ、秘密の飛行機「運山」の製作していた試作工場での労働に諸君はよく働きました。

作業が終わればもう日は落ちて暗闇の中を疲弊した体を寮まで運ばなければならぬ。寮近くになり軍歌を合唱したり元気をだして宿舎に。粗悪な夕食、ゴツタ返し浴で連絡ください。

昭和二十二年三月、四年生で卒業した酒田中学校二十二回生は、その特異な体験を後世に語り継ぐと文集「戦時下の中学生」―飯田―を企画中です。資料がありましたら、東京都北区赤羽台二二五ノ二〇六番藤原三、酒田市日吉町二四三、五十嵐邦夫までご連絡ください。



東京・本郷の旅館で



元小泉飛行機跡を見学



(報告・佐藤貞造)

△
社内で加賀山先生から送られたメッセージを昭三君が声をつまらせながら読む。一同師の温情に感激涙ぐんでいた。

東京での懇親会及び宿泊場所本郷東大正門前にある鳳鳴館森川別館である。

私達は、勤勞奉仕や教練だけはたつた味だったが、ついに修学旅行はなかった。せめてこの機会に修学旅行気分でも味わってみたい。市原君たちが半年以上前から、都内を走り回り、漸く見つけてくれた古風な木造の旅館である。

市原君の人情、そして旅館の女将の好意もあり、この日は客は私達だけで、他の客は誰も入れなかったが嬉しかった。

直接会場に集まってくれた八名を加え総勢五十二名、記念撮影のあと宴会となる。

酒は前もって運ばれた五十嵐邦夫君お配の上喜元の吟醸酒、中学時代の昔に還り名札と顔を見比べながら昔話に花を咲かせ、応援歌や校歌で大いに盛り上げた。初めて同期会に参加の友は、本当に楽しかったと何度も握手を繰り返して喜んでいた。

また、「卒業後四十八年にして、やっとな修学旅行気分を味わうことが出来た」と言ってくれた角田君の言葉が心に沁み、皆の気持ちを代表して言ってくれたものと思う。

宴会終了後は、各部屋をばしして旧交を温める友あり、深夜まで酒を飲みながら語り明かす友あり、充実した旅となった。

△
生臭き肩書とれば皆同じ
ともて学び青春の日々

思えば、昨年六月銀座のレストラン高松で開かれた東京同期会で、小泉訪問の件が決定されて以来丸一年、その間東京と酒田の幹事の間に手紙や電話、ファックス等で連絡を取り合いつつ検討を重ねてきた。

酒田では、五十嵐邦夫君を

はじめ、角田誠一君、大見昭君、小池二夫君等を中心となり、酒田地区の意見を取りまとめた。

その間、何度か東京と酒田を相互に往来し、昨年十一月酒田で開かれた同窓会で議題として取り上げられ、本決りとなったのである。

今回無事実現でき、参加者に喜んでくれた事は本当に嬉しい。また、それにも増して、酒田と東京二つの拠点にたい、丈夫なパイプができ、今後の同期会に大きな期待をもてるようになったことが、何よりの収穫であった。最後に、同行を願ったが、所用のため参加できなかった加賀山鋼太郎先生「写真」のメッセージを紹介して今後の発展を祈りたいと思う。

(報告・佐藤貞造)

此の度の動員地への旅には是非参加したいと思つて昨年以來その日を待っていました。偶々七人の七回忌法要が十三日に当たりましたが参加出来なくなりました。残念です。御案内誠に有難く感謝しています。

△
戦時末期の学徒動員、昭和十九年八月には三年生諸君と神町の海軍飛行場建設で、バ拉克板敷、荒むしに寝起きしながら毎日モッコを担いでいました。

小泉の飛行機工場に動員されていた諸君からは「元気で生産に励んでいます。先生もこちらに来て下さい」との葉書を頂戴しました。

十九年十一月小泉行きを命ぜられました。高林寮に昼に着き、キントンのような昼食をたべて諸君を待ちました。すっかり暗くなつてようやく君達と合流。寮に帰ってきました。

薄暗い電灯の下で廊下に集めた諸君。汚れたナッパ服に無表情で疲弊し切った顔々々。交際の挨拶をしても胸が一杯でした。

早朝暗い霧の中の体操・粗悪な朝食もその日の霧の中を霜柱を踏んでの工場への長い行進。ようやく白んだ職場に、試作工場と整備工場。赤城おろしの身を切るあの寒風の中、終日油にまみれての毎日。

B29より優秀な四発の爆撃機であるといわれ、秘密の飛行機「運山」の製作していた試作工場での労働に諸君はよく働きました。

作業が終わればもう日は落ちて暗闇の中を疲弊した体を寮まで運ばなければならぬ。寮近くになり軍歌を合唱したり元気をだして宿舎に。粗悪な夕食、ゴツタ返し浴で連絡ください。

昭和二十二年三月、四年生で卒業した酒田中学校二十二回生は、その特異な体験を後世に語り継ぐと文集「戦時下の中学生」―飯田―を企画中です。資料がありましたら、東京都北区赤羽台二二五ノ二〇六番藤原三、酒田市日吉町二四三、五十嵐邦夫までご連絡ください。

東京二八会 会長 金山 義雄 事務局 中野区新井五二一八一九 電話 三三八七四七三		昭和二十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和二十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和三十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十二年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和四十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十二年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和五十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十二年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和六十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十二年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和七十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十二年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和八十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九一年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十二年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十三年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十四年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十五年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十六年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十七年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和九十九年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同		昭和百年卒 酒田東・西高校 東京二八会 有志一同	
--	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	------------------------------------	--	------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--	-----------------------------------	--

酒田中学動員状況



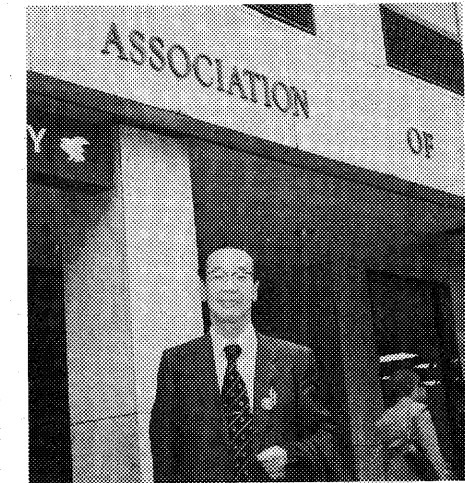
小山松 勝一郎

酒田中学動員状況
酒田中学動員状況
酒田中学動員状況

高齢化社会をどう生きるか(その6)

曾根原重郎(九回卒)

（一）アメリカの定年退職者協会（AARP）の近況
私は昭和五十六年、六十三年に産業シエントロロジーの調査団に参加し、アメリカ人の老後生活を視察したが五年を経、クリントン政権、細川総理、ソ連の崩壊、バブル景気の夢消等めぐる新しい社会の姿の中に中高年雇用福祉協会の友人に現況を取材した。



AARP前の筆者

（二）日本のゴールドプランとはどうなるか
（三）WACCについて
（四）酒田中央高校同窓会東京支部

（五）酒田北高同窓会東京支部
（六）酒田工業同窓会東京支部
（七）酒田中央高校同窓会東京支部

（八）酒田中央高校同窓会東京支部
（九）酒田中央高校同窓会東京支部
（一〇）酒田中央高校同窓会東京支部

（一一）酒田中央高校同窓会東京支部
（一二）酒田中央高校同窓会東京支部
（一三）酒田中央高校同窓会東京支部

（一四）酒田中央高校同窓会東京支部
（一五）酒田中央高校同窓会東京支部
（一六）酒田中央高校同窓会東京支部

（一七）酒田中央高校同窓会東京支部
（一八）酒田中央高校同窓会東京支部
（一九）酒田中央高校同窓会東京支部

（二〇）酒田中央高校同窓会東京支部
（二一）酒田中央高校同窓会東京支部
（二二）酒田中央高校同窓会東京支部

（三）酒田中央高校同窓会東京支部
（四）酒田中央高校同窓会東京支部
（五）酒田中央高校同窓会東京支部

（六）酒田中央高校同窓会東京支部
（七）酒田中央高校同窓会東京支部
（八）酒田中央高校同窓会東京支部

（九）酒田中央高校同窓会東京支部
（一〇）酒田中央高校同窓会東京支部
（一一）酒田中央高校同窓会東京支部

（一二）酒田中央高校同窓会東京支部
（一三）酒田中央高校同窓会東京支部
（一四）酒田中央高校同窓会東京支部

（一五）酒田中央高校同窓会東京支部
（一六）酒田中央高校同窓会東京支部
（一七）酒田中央高校同窓会東京支部

（一八）酒田中央高校同窓会東京支部
（一九）酒田中央高校同窓会東京支部
（二〇）酒田中央高校同窓会東京支部

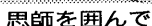
（二一）酒田中央高校同窓会東京支部
（二二）酒田中央高校同窓会東京支部
（二三）酒田中央高校同窓会東京支部

“酒田に一五〇名参集”

さらに実行委員長の橋本俊廣さんの会開催に至るまでの経過説明、小松一男さんの記念事業の募金の現況報告（現在一〇万円集まる）があった。

その中で挨拶に立たれた佐藤善吉先生が、ご自分の教育一筋の人生を実感に裏づけられた貴重な体験として、語られた。そのお話は、会員一同に厳格な中にも慈愛に満ちた方のご指導をしていたいた先生方の学恩を今更のごとくしみじみと思い出させた。

「金メダルの体操チームを
「東京多くの会」



旅行カ□の端に上る」といふ

ふくの会・東京ふくの会

「よつやう、東京大学の会
 議がはじはしは酒を飲み交わし
 米村、桑野先生、また団体から
 帰郷途中の芦野茂喜先生と
 ところがどういいうわけか、
 金メダルの本薬チームを
 旅行バスの端（うしろ）には



まさかのときの三相談は
同窓生の皆様へ

相馬法律事務所 弁護士 相馬 功 (昭和31年卒業) 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル6階 電話 03-3591-4166 FAX 03-3593-3588	●特許申請のご用命は 鈴木特許事務所 弁理士 鈴木 淳也 (昭和28年卒業、昭和56年特許 庁退官、審査官・審判官歴任) 事務所 文京区本郷3-3-1 お茶の水KSビル 電話 3812-5955 自宅 千葉県我孫子市古戸230-4 電話 0471-889479	西上尾上林眼科 院長 上林 茂 (昭和27年卒業) 病院：埼玉県上尾市小泉8-44 電話 048(781)0290 自宅：埼玉県上尾市小泉379-14	ガルフシール工業株式会社 ●ガルフシール工専材料製造施工 ●エンビシート工事施工 ソウゴ工業株式会社 コンクリートブロック製造販売施工 本社 東京都目黒区三田2-10-15 TEL(03)3710-0101代 Fax(03)3710-0292 工場 熊谷市佐谷田2976 大阪営業所 大阪市北区野崎町パークビル 代表取締役社長 藤井 重信 (昭和12年卒業)
有限会社 丸藤建設設計室 丸藤 晋 (昭和46年卒業) 東京都渋谷区東1-12-3 カイトウハイツ105 電話 3486-0865 FAX 3486-0886	クリエイティブな商品写真。  有限会社 アンド・フォトグラフィー 代表 本宮 正幸(昭和36年卒業) 〒104 東京都中央区銀座1丁目19番13号 丸美屋ビルB1 TEL: 3563-2828(代) FAX: 3563-2825	医療法人社団 歯生会 真坂歯科医院 理事長 真坂 信夫 (昭和33年卒) 東京都世田谷区奥沢五丁目26番9号 自由ヶ丘栄ビル3階 (自由ヶ丘駅南口前) ☎03(3718)8470	相川・田中 法律会計総合事務所 弁護士 相川 俊明 (昭和33年卒業) 〒140 新宿区四谷2丁目9番15号 サンサーラ四谷ビル 801号 電話 3353-4638 FAX: 3353-4828

「上げ潮ムード」を堅持

国公立大現役合格者延べ数一四九

平成5年度入試結果

受験人口は漸く減少期に入りましたが、全国的に女子の進学意欲が強まり、四年制大学と短大を合わせた進学率では、男子を上回るという時代になりました。バブル経済破綻の影響もあって、私立大への志願者は減少し、国立大への志願者が大幅に増加しました。

本年度国公立大入試では、センター試験の数学が一挙に易しくなった反面、英語が著しく難化し、全国的に女子受験生に追い風が吹くという結果となりました。

本校では、長年続けてきた国公立大合格者を増やす指導の成果が定着しつつあります。今年の国公立大受験者実数二百五名の中、合格者は延べ数で一四九、実数では三三四に達し、学年定員二百七十人のほぼ半数が合格出来るようになりました。

私立大入試では、受験者実

国立大学合格者数の一部()は内過年度卒合格者数

山形大36(4)	新潟大22(2)	東北大14(0)	弘前大10(0)
茨城大 8(0)	秋田大 5(2)	北教大 5(0)	千葉大 4(0)
金沢大 4(0)	筑波大 4(0)	岩手大 3(0)	福島大 3(0)
宮教大 2(0)	東学芸大 2(0)	東外大 2(1)	一橋大 2(1)
横国大 1(0)	東工大 1(1)	東京大 1(1)	名古屋大 1(0)

私立大合格者数の一部()は内過年度卒合格者数

東北学院大21(3)	大東文化大 8(2)	早稲田大 7(4)	明治学院大 7(4)
東京理科大 6(6)	法政大 6(5)	明治大 5(2)	中央大 5(2)
立教大 5(2)	慶応大 4(2)	日本大 4(2)	立命館大 4(2)
青山学院大 2(0)	国学院大 2(2)	津田塾大 1(0)	同志社大 1(1)

四、実数では前年度比マイナスの二となりました。早稲田、慶応レベルの難関大学合格者も徐々に増えており、近年の受験指導の成果の一つは、数学と理科の学力の成果は、数学と理科の学力

平成5年度総会のお知らせ

本年度総会、懇親会を左記の通り実施いたします。

案内状は、例年通り元費節約のため全員には送付いたしませんので、同級生の皆様、お知り合いの同級生の方へご連絡をお願いいたします。多数の方々に声をかけて頂ければ幸いです。

日時 十月二十二日(金) 午後六時より

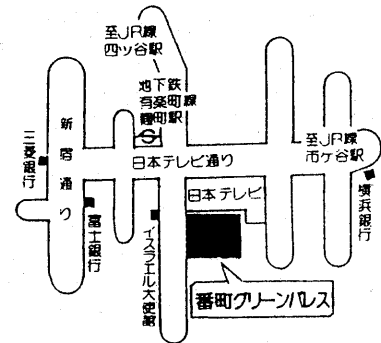
会場 東京都千代田区三番町 番町グリーンパレス (〇三)三六五九二五

地下鉄有楽町線「麹町」都営地下鉄「市ヶ谷」JR線「市ヶ谷」下車

懇親会費 八、〇〇〇円(昭和五〇年以降卒業生は六、〇〇〇円、女性、及び夫婦会員は半額)

総会議題 ①会務報告②会計報告③役員改選④その他

内山 敬司



向上策が漸く実って、理工系大学への進学者が増えていること。地元で優良企業が進出してくれば、即技術者として活躍出来る人材の養成は、市内の活性化の為に不可欠なことと考えています。

本校の弱点は、東大、京都大レベルの難関大には、なかなか現役合格者が増えず、校内で上位の生徒でも、東北大レベルの難関大合格にとどまるという事です。現状の打破には、小中学校段階の基礎学力の充実と市内地域の父母の教育熱心な高めていくことであり、そのために、小中高連携の研修会なども実施しているところです。

酒田東高校進路部長 高橋鎮雄

孫初王

東興鋳造株式会社
山形県酒田市本町3丁目10番20号
TEL 0234 (26) 3 5 3 5

編集後記

〇十一号、十二号でお知らせ

会運営についてお願い

懇親会のお土産

昨年度役員会において、亀城会再開十数年来実施してきた郷土特産物のお土産は、「二次会に行く時に重なる」「調理の方法が判らないので家に持参しても利用できない」との理由で、一応中止するという意見が多数を占めていました。

ところが、昨年度総会当日、「お土産を待っている庄内出身の家族が居るのに……」恒例になっているので、お土産を持って行かないと亀城会出席の証明がない……など出席者から多くの苦情がありました。

本年は、希望者に限って一昨年度以前通り贈呈することとしました。

流通機構の広域化により、郷土の物産も自由に入手できる時代になりましたが、郷土の味を楽しむのも、郷土との連帯をモットーとする本会の意義からも復活させました。

ご希望者は出席がききに、必要の無有を明記の上、ご投函ください。はがきの到着がすぐれた場合は、品物の手配上、贈呈不可能の場合もありますので、承知ください。

土産の内容は、例年通り、郷土特産の水産品、加工品、銘酒、銘菓などを考えています。

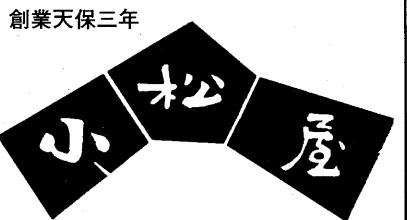
郵便料値上げ?

毎年、総会、懇親会の通知を約千五百通発送しています。ところが返信は欠席を多くめ約六割の不通しか返事でもどって来ません。昨年度の例では、戦中までの卒業生が約八割、二十三回以降三十九回までが約五割というのが回収率となっていますが、四十回以降は、回収率は更に低下しています。

協力を願います(事務局)

「旧校歌『あゝ見よ鳥海……』の作曲者横枕文四郎氏の縁者、ご長女(三女)には昨年度懇親会にご出席頂き、大変お喜び頂いたが、締切りを過ぎた日に、神奈川県大磯町在住の三十八回卒業生松田誠氏より、横枕家代々の墓所、大磯町延命寺の写真を頂いた。降版直前のため、今号には掲載できなかった。お参りしようと思いつながら居たに、大変嬉しい。

〇二十二回生が、語り継ぐ昭和史としての文集「戦時下の中学生」一仮題を企画しているが酒田東高に残っている資料はほとんど絶無という。終戦時に、軍事教育関係の記録は、焼却処分してしまったらしい。アメリカの対日戦争時代と占領時代の記録を、ワシントンの米公文書館で調べることがある。どんなに細かいこともよく調査され、整理記録されていたのには、舌を

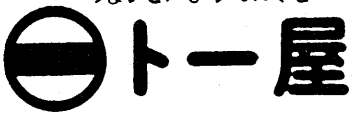


酒田市日吉町一丁目
TEL 22-5151(代)

庄内米を使った酒田米菓のおせんべいも豊富にとり揃えて、お待ちいたしております。

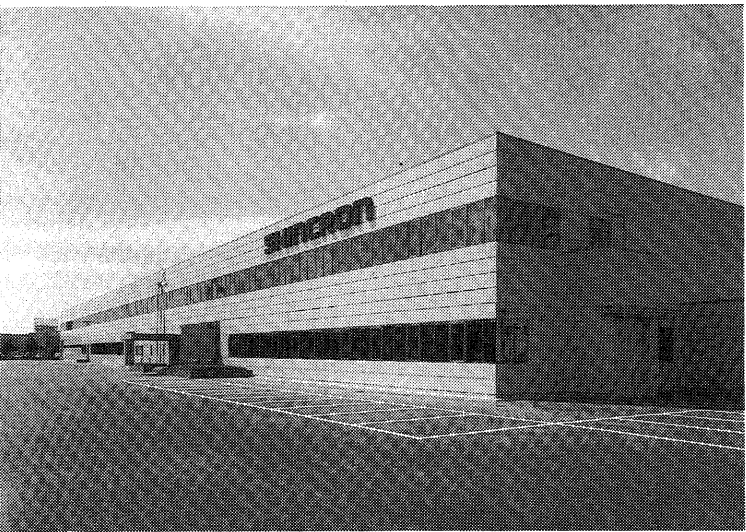
庄内の味
ふるさとの味

うまいものなら なんでも



〈酒田市東町〉 ☎0234(22)6011
無料 ☎0120-22-1018

SHINCRO



株式会社 シンクロン鶴岡

鶴岡市宝田一丁目19-71 ☎(0235) 22-4196(代)

庄内の名産品を
直送します



杉原の

豆腐

すぎはら



皆様の食卓に楽しさを提案します。

山形県酒田市大宮町一丁目7番地の1
☎0234(22)0902(代) FAX0234(22)0911

■ふる里の豆腐、こんにゃく、納豆などをご希望の方に直送します。ぜひお電話を。